



令和3年
9月27日
福島中学校

できる範囲で頑張っています！

「コロナ禍の学校生活」

九月十八日(土)に中体連八女地区陸上大会が、久留米陸上競技場にて開催されました。非常事態宣言下でもあり、厳しい入場制限や密の回避、マスクや消毒の励行、短縮進行といった、これまでに無い徹底した対策の中で行われました。台風による順延での開催でしたが、久しぶりの大会に、生徒たちは緊張しながらも全力で競技に臨み、筑後地区大会に進出する選手もいました。



【筑後地区大会出場】

OU.K (1年女子100m 2位)
OT.A (2年男子1500m2位)

【八女地区大会入賞】

ON.S (男子走り幅跳び3位)

他の部活も、十月六日に運動部の新人大会が行われますので、先んじて再開した陸上部に続いて、すべての部活動が九月二一日から、およそ五十日ぶりに再開しました。生徒たちも久しぶりの活動再開に、喜びとともにホッとした表情を浮かべていたのが印象的でした。

もちろん新型コロナウイルス感染症予防対策にも、継続的に頑張っています。今季の重点は「換気」です。本校では、事務の樋口主幹の提案で、弘前大学の研究に基づく「すま換気法」を採用しています。これは、「三十分」に一度の全開より、常時少し(10〜50cm程度)開けておく方が、エアコンの効率も含めて効果が高いというものです。

左表では、常時換気装置を付けた時以上に効果の高い結果が示されています。また、なるべく上部窓を開放するとさらに効果が高まることから、本校では、①エアコンの有無にかかわらず、常時すべての窓を開放する。②窓側の欄間窓(上部窓)を5cm開ける③廊下側の欄間窓(上部窓)を10cm開けるの三点を、全学級の教室を中心に実施しています。

弘前大の換気効果実験(イメージ)	前方窓 5cm開ける		後方ドア 10〜50cm開ける	
	窓側 廊下側			
常時換気装置	ON	前方窓5cm開 後方ドア10cm開	後方ドア30、50cm開	
空気の入れ替えに要した時間(推計)	20分程度	23分程度	18分程度	



福島中学校は、「書く活動」の充実をめざした授業で「伸びを実感する生徒(重点目標)」を育てます！

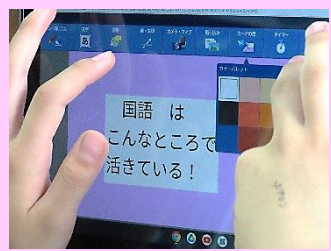
先ほど登場した本校事務の樋口主幹ですが、最近は校内環境・設備の充実のために教科等の授業の参観を積極的に行っています。二年生の総合的な学習の時間「進路学習」各教科を活かす仕事」を参観した感想です。

これからの社会を生きる生徒たちにとって、いろいろな場面ですっきりと考え、行動できるようになることは、大変に意義のあることではないでしょうか。そこで本校では、自分の考えを表現する「書く活動」、自分の考えを友達と対話し「考えを深める活動」を、どの教科・領域でも行っています。

また「書く」表現方法には、従来のノートやプリントに加え、一人ひとりに与えられたタブレットも活用しています。この授業では、「オクリンク」(授業支援ソフト)を使い、プレゼンテーションを作成していました。



授業を見ることは、事務職員にとって、生徒たちの「学びたい」という意欲を感じられ、それに真摯に応えたいと思える良い機会となっています。授業者と連携しながら、生徒が「伸びを実感できる(本年度重点目標)」「よう、より良い教育環境を整えていきたい」と思っています。



事務の先生ならではの視点で授業を参観することで、福島中の授業を支えてもっています。

今年別室からのオンライン

薬物乱用防止教室が開催されました。

九月十日に今年度の薬物乱用防止教室を開催しました。福岡県警少年課・久留米少年サポートセンターから講師を招いて一時間余りの講話を各学級オンラインで聴きました。

今回の対象だった一、二年生たちは、真剣なまなざしで聞き入っていました。特に、薬物には簡単にはやめられない中毒性や常習性があること、「やせられるよ、元気になるよ」など、実に巧妙に近づいてくることなど、薬物そのものやその周りにある危険性を、しっかりと考えてくれていたようです。ぜひ、おうちでも話題にしていただければありがたいです。



主な行事

- ◆十月一日(金) 三年生実力テスト、新人戦壮行会
- ◆十月四日(月) 生徒会役員選挙立会演説会・投票
- ◆十月六日(水) 中体連八女地区新人大会
- ◆十月七日(木) PTA給食試食会
- ◆十月八日(金) 前期終業式 ※十一日は休校
- ◆十月九日(火) 後期始業式
- ◆十月十三日(水) PTA実行理事会(予定)
- ◆十月十九日(火) 学校説明会(新入生保護者対象)
- ◆十月二十日(水) 八女地区音楽会

※状況により変更の可能性があります。